

広報部門

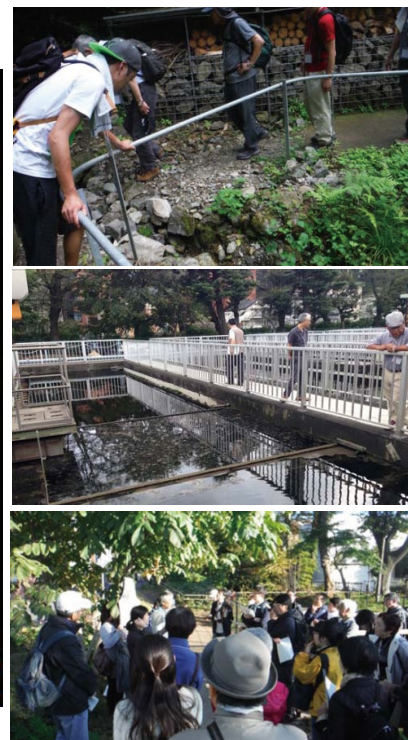
水の学校

東京都武蔵野市



水環境啓発パンフレット

昨年度受講生から「周りの人に伝えたい」と思ったことや意見を集めて、それを基に作成しました。



昨年度連続講座の様子

水源・水再生センター・水がつくった地形のまちあるきなど、多岐にわたるプログラムでした。

PR ポイント!

よりよい水環境のために、各自ができること、人に伝えたいことを話し合い、市民活動へつなぐことを目的としています。6回の講座の中で、普段使っている水がどこからやって来て、使った後どこに行くのか、上下水道の課題、まちの地形と暮らしとの関わり等について、**水源の森や水再生センターなどの現場を見て、楽しく学びます。**

修了生が翌年度以降の講座の企画・運営に関わることができ、今年度の講座内容にも意見が反映され、イベント等の運営にも関わっています。他部署や他自治体、都下水道局、大学、NPO 等と連携して事業を行っています。

Key Person



下水道課
(上段左から) 平塚・石塚
(下段左から) 宮木・阿部

市内に下水処理場がないこともあり、一般市民や親子向けに、市外の水再生センターへのバスツアー等を実施していましたが、参加者の偏りや、市民の行動につながる啓発事業となりえていないのではという課題がありました。

自分の生活とのつながりが見える、面白くてわかりやすいプログラムを毎回考えるのは簡単なことではありませんが、とても勉強になります。

「市民活動を育てる」という目標のハードルは高いですが、講座を始めてみて、受講者の意欲がとても高く、水やまちへ関心を持ち、活動したいと考えている市民が予想以上にいらっしゃる事がわかり、今後の展開に向け、心強く感じています。